

○ 車両規則書 ○

基本仕様(参加車両の最低限ルール)

車両規則書に記入が無い改造・交換はできません。

① 保安部品

- ウインカー、ミラー、テールライト、スタンド、タンデムステップは取り外してください。
- エンジンのキルスイッチを必ず設けること(バンドルクリップを握ったまま操作が出来ること)
- ヘッドライトを付けること(8時間耐久の決勝 16:00よりライトON)
- ※ライトオンが出来ない車両は、決勝走行できません
- ※耐久スタート時のライトオンは自由とします。(常時点灯でもOK)

② タイヤ

- スリックタイヤは使用できません。
- タイヤへの追加工は禁止します。
- 使用限度を超えているタイヤの使用は禁止します。

③ ボディーワーク

- カウルの変更は可 但し、突起物と判断された場合は使用できない。
- ハンドルを左右いっぱいに切った時、タンクやカウル等と指をはさまないようにしてください。
- フルカウル車両のフロントフェンダー取り外しは出来ますが、フルカウル非装着車両の場合は、フロントフェンダーは必ず付けてください。
- 4stクラス車は必ずオイル受け(オイル溜まり)を設けること
- 同メーカーのタンク流用はOKとする。但し取り付けの際、ステイなどはボルト固定のみとする。フレーム切断・溶接などの取り付けはNG
- ※燃料タンクの社外メーカータンク使用・加工は一切できません。

④ 突起物

- 車両にライダー等を傷つける恐れのある突起物(尖ったレバー、破損して鋭利になった部分)がないように気を付けてください。

⑤ チェーンガード&スプロケットガード

- 全車にチェーンガード&スプロケットガード(フロント及びリア)の取り付けを義務付けます、チェーンガードについては、メーカー純正で装着されているもので十分です。
- ※スプロケットガードの取り付けの為の加工は可

⑥ ゼッケン

- フロントゼッケン・サイドゼッケン3面に出来るだけ大きく見やすい数字のものをご用意ください。
- ※リアシート形状により、左右のゼッケンを張るのが、困難な場合は、車両の後方から見て分かるように、シートカウル上部ゼッケンを付けてください。また、アンダーカウルの後端左右にサポートナンバーをつけてください
- ゼッケン色・ゼッケンベース色の指定はありません。但し番号が分かりやすい色にしてください。

⑦ オイルキャッチタンク

- オイルキャッチタンクを必ず装着してください。
- 転倒時に容易に外れたりしないよう固定してください

⑧ ガソリンキャッチタンク

- プリーザー付燃料タンク及びキャブレターに必ず装着してください。
- キャッチタンク中を空にしておくようにしてください。

⑨ オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

- ワイヤーロックするようにしてください。又、フィルターキャップをプリーザーチューブ等に装着するために変更している場合は、ホース等が容易に外れないように固定してください。

⑩ 加工・変更可能な部品

- オイルポンプ・クラッチ・ミッション・スプロケット・チェーン・ブレーキ関係
- キャブレターのセッティングパーツ・エアークリーナBOX・ラジエター(ST125のみ ミッション変更不可)

※SP100 IIはキャブレター&インジェクションの変更は不可(セッティングのみ)

フロントフォーク・スタビライザー・リアサス・ハンドル・レバー・ステップ

純正ミニバイクフレームに同メーカーの純正エンジン交換可(NSRにエイブ用エンジンに変更等)

※取り付けの際、最小限のフレーム加工等は可

※エンジン取り付けで、安全上問題が有ると判断された場合は走行できない。

電装パーツ類(CDI・ECU・プラグ・プラグコード・発電装置・バッテリー)

NSR50とNSF100の総合利用は可、但し、安全上問題が有ると判断された場合は走行できません。

チタンボルト合金の使用可、但し、安全上問題が有ると判断した場合は使用禁止とする。

⑪ ヘッドライトの取り付け

純正ライトもしくは、LEDライト等を外れないよう固定すること(マグライトでもOK 但し、外れないようステイ等で頑丈に固定すること)

オリジナルライトの場合は、操作上問題が出ないように固定してください。

ガラス製ライト使用の場合、飛散防止の為、クリアテープを付けてください。

※PIAA製のライトを推奨します。

⑫ テールランプの推奨

テールランプの取り付けを推奨します。但し、テールランプはヘッドライトと連動していること。

⑬ 大会時に交換パーツについて

大会時に重要部品交換時は再車検を受けること

※重要部品とは、タンク・エンジン・フレーム等

2st - SP50クラス

① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません。

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・シリンダー・クランク・クランクシャフトです。

② マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

③ 排気量UPは出来ません。(50cc)

④ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること。

4st - SP100クラス

① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません(同メーカー、純正パーツ流用はOKです。)

※カムの流用例 XR80・エイブ100・XR100・NSF100の流用可

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・カムシャフト・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。

② キャブレター・マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

④ 排気量UPは100cc以下までです。

⑤ オイルクーラーの取り付けはできます。(取り付けの為の最小限の加工・部品交換はOKです。)

※エンジン保護目的のシャワーヘッドカバー等の取り付けはOKです。

⑥ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること

⑦ NSF(ノーマル)は4st-SP100クラスとします。変更部品によっては、クラスは変わります。

※横型エンジンは111cc以下までです。(例 モンキー GAG KSRなど)

※KSRのエンジンパーツ関係の加工・交換はできません。

⑧ フレーム交換(社外フレーム交換・フレーム加工可)

※フレーム交換によるタンク変更も可

4st - SP100 IIクラス

① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません(同メーカー、純正パーツ流用はOKです。)

※カムの流用例 XR80・エイブ100・XR100・NSF100の流用可

※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・カムシャフト・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。

② マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。

※純正流用キャブレターはOKです(例・XR100にNSFのキャブを使用する等)

- ⑧ 排気量UPは100cc以下までです。
- ⑨ オイルクーラーの取り付けはできます。(取り付けの為の最小限の加工・部品交換はOKです。)
※エンジン保護目的のシャワーヘッドカバー等の取り付けはOKです。
- ⑩ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること
※横型エンジンは111cc以下までです。(例 モンキー GAG KSRなど)
※KSRのエンジンパーツ関係の加工・交換はできません。
※社外のフレーム交換 & 加工はできません

4st - ST125クラス

- ① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません
- ② GROM125・Z125Pro・KSR110・HOPPER125(SE含む)のみ参加可能クラス。
- ③ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること。
- ④ KSR110をZ125Proのシリンダー & ピストンを使用して125ccにUPはOKです。
(社外のシリンダー & ピストンの使用はできません)

4st - SF100クラス

- ① エンジンパーツ関係の加工・交換は出来ません(同メーカー、同形式の純正パーツ流用はOKです。)
※エンジンパーツ関係とは、ヘッド・シリンダー・ピストン・クランク・クランクシャフト・クランクケースです。
※カム交換可とする(社外カムの使用可能)
- ② キャブレター・マフラー・チャンバー・サイレンサーの加工・交換ができます。
- ③ 排気量UPは100cc以下までです。
- ④ オイルクーラーの取り付けはできます。(取り付けの為の、オイルポンプ & Rカバー交換 オイル通路加工もOK)但し、シリンダー交換タイプはNG
※エンジン保護目的のシャワーヘッドカバー等の取り付けはOKです。
- ⑤ 横型エンジン(モンキー GAGなど)は、GT100の車両規定でSP100とする。
- ⑥ ミッション・エアークリーナーBOX・リアサスの交換が出来ます。
- ⑦ フロントサスペンションのオイル・スプリングおよび突き出し量の変更、車高調整する為のカラーを追加することが出来る。
- ⑧ その他変更に関しては、基本仕様を満たしていること
- ⑨ フレーム・外装の交換可能(タンク含む)

例 RS125にエイブのエンジンを載せて、カム交換した車両(タイヤはスリックタイヤ使用禁止)